

平成20年5月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平19年10月5日

上場会社名 株式会社オータケ

上場取引所 J Q

コード番号：7434

URL <http://www.kk-otake.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 富雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 堀部 浩市 TEL (052) 562-3311

配当支払開始予定日 平成一年一月一日

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年5月期第1四半期の業績（平成19年6月1日～平成19年8月31日）

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年5月期第1四半期	7,384	3.1	305	7.8	345	7.8	199	3.5
19年5月期第1四半期	7,160	4.8	283	27.3	320	23.9	192	22.0
19年5月期	30,111	—	1,333	—	1,438	—	859	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年5月期第1四半期	46	63	—	—
19年5月期第1四半期	45	04	—	—
19年5月期	200	64	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年5月期第1四半期	17,855		9,219		51.6		2,151	88
19年5月期第1四半期	17,595		8,515		48.4		1,987	61
19年5月期	16,446		9,166		55.7		2,139	43

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年5月期第1四半期	△1,826		62		1,758		482	
19年5月期第1四半期	—		—		—		—	
19年5月期	221		△105		△128		487	

(注) 平成19年5月期第3四半期より四半期キャッシュ・フローの開示を行っておりますので、平成19年5月期第1四半期については記載しておりません。

3. 平成20年5月期の業績予想（平成19年6月1日 ～ 平成20年5月31日） 【参考】

（％表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	15,500	3.1	690	0.0	750	0.0	440	4.3	102	70
通期	31,000	3.0	1,340	0.5	1,450	0.8	850	△1.1	198	40

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は業況の変化により、上記予想値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格が依然として高値で推移し、またサブプライムローンに端を発した世界的な金融不安等先行きに不安要因がありますが、企業収益の改善による堅調な設備投資や、雇用情勢の改善による個人消費の増加等より、緩やかな景気回復基調が続きました。

当第1四半期の当社を取り巻く環境は、公共投資が引き続き減少傾向にあること、機械受注や建設工事受注に若干翳りが見えてきたことより、厳しい状況となりました。

このような状況下におきまして、当社は全社一丸となって営業推進に邁進してまいりました結果、当第1四半期における売上高は前年同四半期比3.1%増の73億84百万円となりました。また、営業利益は3億5百万円（前年同期比7.8%増）、経常利益は3億45百万円（同7.8%増）、四半期純利益は1億99百万円（同3.5%増）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の資産の部は、前事業年度末と比較して14億8百万円増加し、178億55百万円となりました。この主な増加要因は、土地の売却による減少が78百万円あったものの、売上債権の増加が13億55百万円、たな卸資産の増加が1億80百万円あったこと等によるものであります。

負債の部につきましては、前事業年度末と比較して13億55百万円増加し、86億35百万円となりました。この主な増加要因は、仕入債務1億68百万円、賞与引当金1億20百万円、未払法人税等が2億44百万円等の減少があったものの、短期借入金が増加した19億円増加したことによるものであります。

また、純資産の部につきましては、前事業年度末と比較して53百万円増加し、92億19百万円となりました。この主な増加要因は、配当金の支払が1億41百万円あったものの、当第1四半期における四半期純利益が1億99百万円あったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は51.6%となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末の現金及び現金同等物は、4億82百万円となり、前事業年度末に比較して4百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、18億26百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億35百万円の収入があったものの、売上債権の増加が13億55百万円、たな卸資産の増加が1億80百万円、仕入債務の減少が1億68百万円及び法人税等の支払が3億70百万円があったことによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は、62百万円となりました。これは主に、土地売却による収入73百万円があったことによるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、17億58百万円となりました。これは主に、配当金の支払が1億41百万円あったものの、19億円の短期借入金の増加があったことによるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報等

当第1四半期における業績は概ね当初計画どおりに推移しておりますので、平成19年7月10日発表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

### 4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) ・法人税等の会計処理については、簡便法により税金費用を計上しております。

・たな卸資産の棚卸高は、前事業年度末の実施棚卸高を基礎とする帳簿棚卸によって算定しております。

・その他影響額が僅少なものについては簡便な方法を採用しております。

(2) 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年5月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年5月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年5月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	388	482	94	24.4	487
2 受取手形	5,250	5,114	△135	△2.6	3,722
3 売掛金	4,821	5,152	330	6.8	5,188
4 たな卸資産	1,885	1,872	△13	△0.7	1,691
5 繰延税金資産	159	142	△17	△11.1	142
6 その他	25	23	△1	△5.9	36
貸倒引当金	△162	△73	88	△54.7	△63
流動資産合計	12,367	12,713	345	2.8	11,205
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	823	815	△8	△1.0	826
(2) 土地	2,350	2,271	△78	△3.4	2,350
(3) その他	82	89	7	8.9	94
有形固定資産合計	3,255	3,175	△79	△2.5	3,271
2 無形固定資産	13	13	0	△0.6	13
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	1,817	1,818	0	0.0	1,822
(2) 関係会社株式	23	23	—	—	23
(3) その他	221	209	△11	△5.4	208
貸倒引当金	△103	△99	4	△4.7	△99
投資その他の資産合計	1,958	1,951	△6	△0.3	1,955
固定資産合計	5,227	5,141	△86	△1.6	5,240
資産合計	17,595	17,855	259	1.5	16,446

科目	前年同四半期末 (平成19年5月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年5月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年5月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形	3,311	3,138	△172	△5.2	3,286
2 買掛金	2,134	2,215	81	3.8	2,236
3 短期借入金	2,300	1,900	△400	△17.4	—
4 未払金	95	61	△34	△36.1	89
5 未払法人税等	130	136	5	4.5	380
6 賞与引当金	69	79	9	13.2	200
7 役員賞与引当金	7	11	3	49.6	15
8 その他	54	105	50	92.5	89
流動負債合計	8,104	7,647	△456	△5.6	6,297
II 固定負債					
1 長期未払金	—	129	129	—	129
2 繰延税金負債	154	148	△6	△3.9	152
3 再評価に係る繰延税金負債	224	224	—	—	224
4 退職給付引当金	447	463	16	3.6	456
5 役員退職慰労引当金	129	—	△129	—	—
6 その他	19	21	2	10.3	19
固定負債合計	975	987	12	1.2	982
負債合計	9,079	8,635	△444	4.9	7,280
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	1,312	1,312	—	—	1,312
2 資本剰余金	1,315	1,315	—	—	1,315
3 利益剰余金	5,533	6,258	725	13.1	6,200
4 自己株式	△0	△0	—	—	△0
株主資本合計	8,161	8,886	725	8.9	8,827
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	672	651	△21	△3.2	656
2 土地再評価差額金	△317	△317	—	—	△317
評価・換算差額等合計	354	333	△21	△6.0	338
純資産合計	8,515	9,219	703	8.3	9,166
負債、純資産合計	17,595	17,855	259	1.5	16,446

## (2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年5月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年5月期 第1四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年5月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
I 売上高	7,160	7,384	223	3.1	30,111
II 売上原価	6,207	6,387	179	2.9	25,974
売上総利益	952	996	43	4.6	4,136
III 販売費及び一般管理費	669	690	21	3.2	2,803
営業利益	283	305	22	7.8	1,333
IV 営業外収益					
1 受取利息及び配当金	14	16	1	12.2	29
2 仕入割引	26	27	0	3.7	100
3 不動産賃貸収入	5	5	△0	△4.2	16
4 その他	1	1	0	27.9	11
計	47	50	2	5.9	158
V 営業外費用					
1 支払利息	3	4	0	18.3	19
2 売上割引	6	6	△0	△7.1	28
3 その他	—	—	—	—	3
計	10	10	0	1.3	52
経常利益	320	345	24	7.8	1,438
VI 特別利益	4	—	△4	—	87
VII 特別損失	0	9	9	1,624.6	7
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	323	335	11	3.6	1,518
税金費用	131	136	5	3.8	659
四半期 (当期) 純利益	192	199	6	3.5	859

## (要約) 四半期株主資本等変動計算書

前四半期 (自 平成18年6月1日 至 平成18年8月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年5月31日残高	1,312	1,315	5,469	△0	8,096	655	△317	337	8,434
当四半期変動額									
剰余金配当			△128		△128				△128
四半期純利益			192		192				192
株主資本以外の項目の 当四半期変動額						16		16	16
当四半期変動額合計	—	—	64	—	64	16	—	16	81
平成18年8月31日残高	1,312	1,315	5,533	△0	8,161	672	△317	354	8,515

当四半期 (自 平成19年6月1日 至 平成19年8月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年5月31日残高	1,312	1,315	6,200	△0	8,827	656	△317	338	9,166
当四半期変動額									
剰余金配当			△141		△141				△141
四半期純利益			199		199				199
株主資本以外の項目の 当四半期変動額						△5		△5	△5
当四半期変動額合計	—	—	58	—	58	△5	—	△5	53
平成19年8月31日残高	1,312	1,315	6,258	△0	8,886	651	△317	333	9,219

前会計年度 (自 平成18年6月1日 至 平成19年5月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年5月31日残高	1,312	1,315	5,469	△0	8,096	655	△317	337	8,434
事業年度中の変動額									
剰余金配当			△128		△128				△128
当期純利益			859		859				859
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額						0		0	0
事業年度中の変動額合計	—	—	731	—	731	0	—	0	731
平成19年5月31日残高	1,312	1,315	6,200	△0	8,827	656	△317	338	9,166

## (3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成20年5月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年5月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	335	1,518
減価償却費	17	67
退職給付引当金の増減額 (減少: △)	6	4
貸倒引当金の増減額 (減少: △)	9	△96
賞与引当金の増減額 (減少: △)	△120	40
役員賞与引当金の増減額 (減少: △)	△3	△15
役員退職慰労引当金の増減額 (減少: △)	—	△160
受取利息及び受取配当金	△16	△29
支払利息	4	19
売上債権の増減額 (増加: △)	△1,355	△610
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△180	△74
仕入債務の増減額 (減少: △)	△168	△82
未払金の増減額 (減少: △)	△22	15
その他 (純額)	26	143
小計	△1,467	741
利息及び配当金の受取額	16	29
利息の支払額	△4	△19
法人税等の支払額	△370	△529
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,826	221
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6	△63
有形固定資産の売却による収入	73	2
投資有価証券の取得による支出	△4	△61
貸付金の回収による収入	1	16
その他 (純額)	△1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	62	△105



	当四半期 (平成20年5月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年5月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額 (減少: △)	1,900	—
配当金の支払額	△141	△128
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,758	△128
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	△4	△12
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	487	500
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	482	487